（別紙4（2））

事業所名：グループホームはっぴーらいふ

作成日：　令和　4　年　1　　月　14　　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害・感染対策を検討 近年自然災害が増加傾向にあり今後のあらゆることを想定した災害対策が求められる。 感染症対策も同様、対応が必要。	万が一備えあらゆる災害・感染に対して適切な対応を取ることが出来るようになる。	・災害時の緊急連絡網を活用（SNS等も活用） ・備蓄品の整備確認。 ・近隣の方や地区の防災会議、運営推進会議を活用し情報共有や地域とのつながりを作る。 ・防災、感染対策に関する研修等への積極的な参加。	12ヶ月
2	49	日常的な外出支援や行事参加について 感染対策や外出制限や外出場所の減少により今まで出来ていた外出支援や行事参加が減少し、季節感や楽しみを感じづらくなっている。	現状を踏まえながら出来る限りの対策を行った上での外出支援、行事参加ができる。	・外出、行事以外でも個別での運動等を充実させるため、利用者ごとに適したリハビリや体操、レクレーション等を検討、実施する。 ・ご家族へも感染対策を講じた上での支援協力を仰ぐ	6ヶ月
3	12・1	利用者とスタッフそれぞれに対する心身ケア 利用者に対する対応のレベルアップとともにスタッフの充実したケアが継続できるようにそれぞれの心身ケアが必要である。	認知症を理解する事で利用者への安心感が増し穏やかな施設生活を提供することができる。	・認知症や介助方法等に関連した研修へ参加する。 ・利用者一人ひとりに適した生活環境を整える。 ・定期的に業務の見直しを行う等、スタッフにおいて働きやすい環境づくりに努める。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。